

【テキストメッセージに感情情報を付加する】 Meta

①要約：

この発明は、スマートフォン上でメッセージを入力し、相手の感情を推定して表示することを目的としています。キーボード入力の手速や加速度を利用して、ユーザーの感情を予測し、それに従って表示形態を変化させます。また、文字の間隔や色などを調整することで感情を表現することも可能です。この発明には AI を活用して感情予測を行う方法も記載されており、メッセージの一部を強調する機能や、位置情報に応じた表示の変化も考慮されています。

②目的：

この発明の目的は、相手の感情を正確に把握し、それに適したコミュニケーション環境を提供することです。リアルタイムで感情推定を行い、表示形態の変化を通じて相手に伝えることで、コミュニケーションの精度と質を向上させることを目指しています。

③新規性：

この発明の新規性は、キーボード入力の手速や加速度を基にした感情推定技術や、メッセージの表示形態や色彩を感情に合わせて変化させるアイデアにあります。また、位置情報に応じたメッセージの適応や一部の強調表示など、独自のアイデアが発明に含まれています。

④独自性：

この発明の独自性は、スマートフォン上でのメッセージ入力を通じて相手の感情を推定し、表示形態を変化させるというアイデアにあります。キーボード入力特性と感情の関連性を活用する点や、AI を用いた感情予測方法など、他に類を見ない独自のアプローチが発明に記載されています。

⑤経済価値：

この発明は、コミュニケーションアプリや SNS プラットフォームなどで利用されることが想定されます。感情に応じたメッセージの表示形態は、ユーザーエクスペリエンスを向上させ、コミュニケーションの質を高めることができます。また、発明の独自性と新規性は、競争優位性を生み出し、経済的な価値を持つと考えられます。